

平成31年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	学び合い人と文化を育むまち
基本方針	生涯を通じて学び合うまち
基本施策名	生涯学習の推進

	所属	職名	氏名
作成者	堀金地域課	課長	吉田 美千代
評価者	市民生活部	部長	山田 真一

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	市民全てが、生きがいを持って暮らせる社会を実現するために、生涯学習の機会拡大と充実が求められています。また、学んだ成果を地域に活かす活動の支援も求められ、多様化するニーズに対応した生涯学習の機会提供が必要となっています。
基本方針 (目指すべき方向性)	生涯学習を通じて、自ら学び挑戦する心を育み、学んだ知識や技術が地域社会に活かされる環境づくりを進めます。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H29	H30	H31	達成率	進捗状況	所管課
生涯学習講座参加者数	人	22,674	23,000		22,339	21,138	93.2	順調	生涯学習課
図書館利用者数	人	212,808	228,000		233,119	237,305	104	順調	文化課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化	
				H29	H30	H31	R 2	R 3	合計	事業区分	新/継	終期	方向性		正規職員数
1	0110750	堀金公民館施設管理運営事業	地域担当(堀金)	3,774,442	3,739,316	4,039,860			11,553,618	施設の管理運営	継続	期限なし	現状のまま実施することが適切	0.6	
2	0110755	堀金公民館事業	地域担当(堀金)	4,309,458	4,629,444	4,499,740	4,619,000	4,619,000	22,676,642	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま実施することが適切	1.5	○
合計				8,083,900	8,368,760	8,539,600	4,619,000	4,619,000	34,230,260						

事務事業量とコスト(費用対効果)の分析	市民誰もが主体となって、生涯学習の機会を享受し、地域に活かす活動の支援や、生涯にわたってスポーツに親しむことは、健康の保持のほか、生涯を通じて学び合うまちづくりに有益です。公民館活動は、生活を豊かにし、低コストで柔軟な運営が行われるものであります。
重点化事務事業の考え方	積極的な情報発信により、誰もが生涯学習やスポーツに気軽に容易に参加できる環境づくりを推進します。
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価(次年度へ向けた課題の抽出)	ライフステージに応じた生涯学習の形態が多様化していることから、個々に対応できるきめ細やかな情報発信と支援が求められます。地域(コミュニティー)と連携した生涯学習プログラムづくりが重要となります。

平成31年度 基本施策評価シート（部別）

基本目標	計画の実現に向けて
基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
基本施策名	方針1 協働によるまちづくりの推進

	所属	職名	氏名
作成者	堀金地域課	課長	吉田 美千代
評価者	市民生活部	部長	山田 真一

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	地域が抱える課題や価値観の多様化といった社会の分化が進み、行政だけでは解決することが困難な問題が多くなってきています。市民と行政による協働のまちづくりを進めています。
基本方針 (目指すべき方向性)	協働によるまちづくりの推進と啓発に努め、地域コミュニティの再構築を進めるとともに、その活性化を図ります。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H29	H30	H31	達成率	進捗状況	所管課
市民活動サポートセンターにおける活動団体取材件数	件	14	100		8	11	11	停滞	地域づくり課
区への加入世帯数	世帯	28,973	29,300		29,009	29,127	99.4	順調	地域づくり課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化	
				H29	H30	H31	R 2	R 3	合計	事業区分	新/継	終期	方向性		正規職員数
1	0102115	堀金地域づくり事業	地域担当（堀金）	1,472,590	1,384,380	566,980	1,118,000	1,118,000	5,659,950	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	2.13	○
合計				1,472,590	1,384,380	566,980	1,118,000	1,118,000	5,659,950						

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	多様化複雑化する地域課題の解決に向けて、区と市が協働により「区民一人ひとりが主体的に地域活動に参画し、支え合い助け合う区の仕組みの構築」及び「区にとって本当に必要な事業を、効率的・効果的に推進するための仕組みの構築」に取り組む必要があります。
重点化事務事業の考え方	区の事業の効率化を図る組織体制への転換と、多くの区民が参画し、それぞれの役割を果たすことによる役員の負担軽減が喫緊の課題となっています。現状の各区の組織や事業などを精査し、それぞれの区にとって一番運営しやすい効果のある組織を作ることが大切であり、それを目指す手段として「部制度」の導入がありますが、各区内の実情に照らし合わせ、可能な限り部制度に近づけ、より効果的な組織を導入できるように区への支援が必要です。
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出含)	区が抱える課題を共有し、解決に向けた支援や情報提供などを行いました。部制度の勉強会では、自治組織の仕組みを見つめなおす好機となりました。人口減少、少子高齢化の進行や核家族化などの社会情勢の変化により、ライフスタイルも変化した地域課題も複雑かつ多様化してきていることから、地域におけるつながりが重要となります。支え合い、助け合い、見守り合い活動の実践の取り組みに対する支援が必要です。

平成31年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	計画の実現に向けて
基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
基本施策名	方針5 健全財政の堅持

	所属	職名	氏名
作成者	堀金地域課	課長	吉田 美千代
評価者	市民生活部	部長	山田 真一

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	継続的に良質な市民サービスを提供し、継続可能なまちを実現するためには、安定した財政基盤が確立されていなければなりません。経年による劣化が施設の随所で見受けられ、特に空調設備は特に老朽化が著しく、一部修理を行いました但那修理中に稼働していた正常な空調機が過重負荷により故障してしまい修理が必要な状態です。堀金支所を利用する地域住民に不便をかけさせないよう修理時期について、見極めが必要です。
基本方針 (目指すべき方向性)	累積滞納額の縮減と新たな財源確保を進めるとともに、最少の経費で最大の効果を挙げられるよう歳出予算を継続的に見直し、健全財政の堅持に努めます。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H29	H30	H31	達成率	進捗状況	所管課
市税現年収納率	%		99.2	99.2	99.3	99.3	100	予定以上	収納課
実質公債費比率	%		9.6	12.3	9.3		100	予定以上	財政課

施策指標の進捗状況と分析	
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化	
				H29	H30	H31	R 2	R 3	合計	事業区分	新/継	終期	方向性		正規職員数
1	0102110	堀金支所等施設管理運営事業	地域担当 (堀金)	20,319,771	24,755,007	19,017,173			64,091,951	施設の管理運営	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.77	
合計				20,319,771	24,755,007	19,017,173			64,091,951						

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	複合施設の一体的、計画的な維持管理のもと、特に光熱水費については、庁舎内の関係部署と緊密に連携し、こまめな節電、節水に心がけましたが、空調設備の不具合等があり、光熱水費が昨年度より7%上回る結果となってしまいました。
重点化事務事業の考え方	
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出)	堀金支所は既に築17年となり、随所に老朽化が見られます。支所利用者に不便を感じさせている部分があり、重大な過失事故が起こらないよう、環境を整えることが、急務と思われます。